



引き続き新型コロナウイルス感染症対策の継続

国の緊急事態宣言で鳥取県が解除になったことを受けて5月15日（金）に県の新型コロナウイルス感染症対策本部が開催されました。本町においては、次のとおり県立学校等の教育活動と同様の取組となります。

- 登校、授業は、換気、3密防止、検温・体調確認を行って通常どおり実施。
- 部活動については5月30日から休日の練習を再開する。但し、平日2時間、休日3時間以内の練習、平日1日、休日1日の休養日の確保。県内での対外試合は6月1日から解禁、合宿・県外遠征は不可。

解除後も新たな感染者を出さないためにソーシャルディスタンスの確保、マスク着用、手洗いを基本とする「新しい生活様式」が叫ばれています。学校においても感染症対策を継続しますが、ご家庭においても当面の間、健康観察等、次点について改めご協力をお願いします。

- 登校前の検温、発熱等風邪症状などの体調不良の場合は登校を控える。
- 帰宅時や食事前のこまめな手洗いを徹底する。
- 学校でのマスク着用に係る準備並びに休日等外出する場合はマスクを着用する。
- 人が集まる場所への外出をできるだけ控える。（県外への不要不急の移動は控える。）

コミュニティ・スクールについて

コミュニティ・スクール（以下、「CS」と記載）導入により、学校における地域との連携・協働体制を組織的・継続的に構築していく土壌をつくるのが今年度の位置づけになると考えています。まだまだCSがどういうものなのかイメージがわからない、という声を聞きます。実際は「こうするもの」というものではなく、地域や学校の状況に応じて学校、保護者や地域の方とともに創り上げていくものです。裏面の活動のマップを見ていただければ、本校はかなり地域連携に係る活動は行っていることが分かります。「・」は現在行っている活動、「○」が今後実施に向けて検討していこうとしている活動です。大栄中版CSの形を学校運営協議会などを通して熟議をしていきたいと考えています。

CSの活動の第一弾として、5月18日（月）に、地域の方（ほくほくプラザ館長さん、ボランティアお二人）と本校教員が協働し、2年生家庭科でマスク作りの授業を行いました。ミシン縫いのあと、ゴム通し部分のしつけを行うなど、ミシンの使い方や返し縫いの仕方を学習しました。地域の方に尋ねながらミシン縫いをする生徒の姿が見られました。教員を含めた4名の指導者がいることでよりきめ細やかな指導ができたことをうれしく思いました。



学校経営方針 その1

変化の激しいこれからの社会を生き抜くために、時代は変化しても、「知」「徳」「体」のバランスのとれた力を育成することが重要です。学校経営方針はこの3つに「地域連携（CSの推進）」を加えた4本柱としています。

今回は「知」の部分の話です。義務教育を修了する3年時には、自らの進路を決定することが迫られます。生徒の可能性を広げるためには、学力の定着は欠かせません。日々のためめめめ教師の授業改善はもちろん、家庭学習の充実も図り、自らの進路を切り拓く確かな学力を身につけることを目指しています。

本校では、平成25年度から「5U（ファイブユニット）学習」を取り入れています。これは教科の特性によって違いはありますが、50分の授業を右のように5つのユニットに分けて、ユニットごとの役割を明確にした授業展開により、生徒主導の授業を構築し、生徒の満足度を高めることで学力向上を図っています。

- U1…既存学習の定着（脳活学習）と課題の設定
- U2…個人での追求
- U3…ペア・グループ学習（協働学習1）
- U4…全体学習（協働学習2）
- U5…評価・振り返り+習熟度別学習（定着と発展）



対話や協働を意図的に仕掛けて深い学びへ繋げていけるよう先生方は日々の教材研究に熱心に取り組んでいます。左の写真はU4の全体学習をしているシーンです。黒板に貼りつけてある6枚のホワイトボードはU3のグループで話し合った内容が記載されたものです。また、写真にあるように多くの先生が、パワーポイントを活用して生徒の活動時間を確保したり、写真や動画を活用したりして学習を深めるよう工夫をしています。

一方、大栄中の課題として、家庭学習が不足している点が挙げられます。今年度は主体的な学習の習慣化を図るため、「自学ノート」の工夫に取り組んでいます。「自学ノート」はこれまでも行ってきた取組ですが、やり方を少し見直しました。それは、授業でも毎回「何のために」という課題を明確にしていますが、家庭学習でも何をどのように取り組むのかというビジョンをはっきりさせてから始めることが大事だと考えています。「植物の器官の名前とはたらきを覚える」「20分間で20問解けるようにする」など、その日の学習で注意することを「自分でめあて」として記載し、事前に自分で意識することで、自分の弱点を知り、克服することに繋がると考えます。また、「学習の最後には必ずその日の勉強の振り返りを書く」というやり方です。できたことを知ることで自己肯定感が養われ、できなかったことを明確にすることで、次の課題発見とやる気に繋がればと考えています。ご家庭でもこの2点について確認していただけたらうれしいです。